

地域林政対談 イン 西都児湯

林業の成長産業化の実現に向けて林業を着実に発展させ、地域における雇用の場の創出と所得水準の向上をもたらす産業へと転換することが極めて重要な課題となっています。

このような中で、地域の森林・林業行政を牽引されている市町村長及び県関係者と九州森林管理局等の林業関係機関が、各々の地域で実際に直面している具体的な課題について、同じ視点に立って今後の地域林業政策を展開していくことを目指して、情報交換や意見交換を行う懇談の場として「地域林政対談」をスタートさせました。

第五弾は、押川修一郎西都市長、黒木定藏西米良村長、半渡英俊木城町長にご参加いただき、地域林政の今後の展開や森林・林業の可能性などについて、意見交換を行いました。



一ツ瀬ダム(西都市)



かりこぼうず大橋(西米良村)



木城えほんの郷(木城町)

官と民が協力して宝の山を継承していく必要〔西都市長〕

西都市では、シカによる農林作物の被害が後を絶たない状況である。このような中、先日、猟友会と森林管理署と協定を結んで、くくり罠を無償提供していただいているところ。シカの捕獲に向けてやっていかないといけない。シカ被害により農林業の生産力がなくなるようなところも出てきている。市の77%が森林であり、後継者をどのように確保しながら、宝の山を今後どのよ

うに守っていくのか、継承していくのかが喫緊の課題である。森林組合、農業協同組合とも一緒になって、農林作物の被害を防ぎながら、生産に結びつけていくか、中山間地の活性化を含めて大きな課題だと思っている。民と官が協力して、対策に結びつけていきたい。森林管理署には、今まで以上に様々な連携・支援をお願いしたい。

事業者・後継者の育成が課題〔西米良村長〕

林業がどうすれば儲かるのかということ、低コスト林業をしつかり考えなければいけない。コストを下げなければペイできない。

また、事業者の育成をどう進めていくのか、後継者の育成とセットの課題である。若い労働者が山からいなくなっており、山を伐りたいけど伐ってくれる人がいない状況である。西米良村では、事業者の育成、後継者対策として、高性能林業機械の購入補助や新規就業者への人件費の補助をしている。

シカ対策では、村内で6人を毎月20日

間、10万円で雇用していることもあり、被害は落ち着いている。捕獲したシカの活用策として、ジビエ工場を整備しているところ。今後、近隣市町村と連携して、駆除効果を上げると共に資源の有効活用を努めたい。

森林の管理として、フォレストには期待している。森林組合の職員を育てていたきたい。

木材の豊かな利活用を進めるため、森林環境教育が重要である。子供たちに森林や木材の良さを知ってもらわなければ使ってはもらえない。

木城町は国有林に抱かれた町である〔木城町長〕

木城町の83%が森林、そのうちの3分の2が国有林であり、国有林に抱かれた町である。

獣害については、国有林のほう逃げ場所になっていこともあって、協定を締結し、くくり罠を無償で貸与いただいているところ。これを契機に、獣害対策を進めていきたい。

「木城えほんの郷」の裏手に隣接する国有林をフィールドとして、ふれあいの森として、森林環境教育への利活用をしている

ところであり、ここで企業版ふるさと納税の活用も始めたところ。

ケーススタディの取組みについては大変ありがたいと思っている。市町村森林整備計画の中に取り入れていきたい。国有林には技術的な指導や助言をいただき大変助かっている。

国産材を使うということで、公共施設の木質化、木造化についても率先して取り組みたい。

● 公共建築物はCLTも活用して木造化・木質化を

林業の成長産業化の実現に向けて、林業活動で生産される木材の需要先をいかに増やしていくか、ということが重要な課題です。

木城町長 介護と生活支援の施設を、新たに木造で建築するようにしている。ただ、CLTを使おうと思ったが、設計会社が難色を示した。

西米良村長 村内の新たな公共建築物は木造化を進めているところ。来年1月から庁舎も建て替えとなる。できるだけ木材を使いたい。CLTは使いたいが、設計会社は使ったことがないからノウハウがない。そういう指導をしてもらいたい。また、建築資材としてだけでなく、土木資材としても活用することを期待している。

西都市長 公共建築物の建て替え時期が来ている。防災関連施設をCLTで建てたいと思っているが、建てようと思ってもそれを扱える人がいない。

西米良村長 大きな地震があると、古い木造家屋はつぶれる、木造建築は危ないという間違った認識があるように思う。

九州森林管理局長 今回の熊本地震も、木造だから壊れた訳ではなく、断層の上に建っていた家は鉄筋でも倒壊した。木造建築に関する正しい知識を普及することも必要。

九州森林管理局森林整備部長 CLTに関しては、林野庁で普及に向けたロードマップを作成しており、国土交通省と燃えしる部分の設計や、消防法について話をして、変えられることは変えていくという姿勢でやっている。だいぶ意識も変わってきた。標準化された設計図など出てくるようになればいいのかなと思っている。CLTには、工期縮減などのメリットがある。

宮崎県児湯農林振興局林務課長 宮崎県には木材利用技術センターがあり、木材利用についての相談窓口を設けている。綾中学校の建設なども県から技術支援を行った。いま、小

林市議会庁舎を木造3階建てで建設中だが、小林市有林の材を使用している。年2百数十件の相談があり、非木造で検討していたものが木造になったケースもある。県の防災拠点庁舎については、外壁に耐久壁としてCLTを使用する予定である。木造建築に当たっては、是非、木材利用技術センターを活用いただきたい。



左が庁舎棟(在来)、右が会議室棟(CLT)



会議室棟内部にCLTを一部あらし(O印はCLT)

西都児湯森林管理署の庁舎設備で国の庁舎設備として初めてCLTパネル工法を採用予定

●シカ対策は関係者が連携して取り組む必要

現在、九州全体的にシカ被害が拡大している状況です。市町村、県、国有林など、関係者が一丸となつて対策に取り組むことが重要です。

局長 すでに手遅れの森林が多くなっているが、まだ、下層植生があるうちに早く守る必要がある。植生の保護と同時に捕獲を進め、山に入ってもシカを見ないくらいまで個体数を管理しなければならぬ。捕獲に当たっては、くくり罠が有効で、シカネットの試験地なども設置している。様々な対策を協定を結んでやっつけていければと思っている。

西米良村長 とにかくシカは捕らないとだめ。西米良村では年間1千頭以上捕っている。

局長 西米良村ではシカを捕獲すると村としてどのような助成をしているのか。

西米良村長 国と県、村で8千円出している。それに、ジビエ用に2時間以内に持つてくれば5千円出している。さらに肉代で4千円くらいになるから、計1万7千円くらいにはなる。月10頭捕獲すれば

10万円の給料と併せて27万円になる。
木城町長 木城町でも、アドバイザーを2名雇用しているが、対策を進めるには地元猟友会の理解が必要である。
局長 関係者で連携をとって獣害対策をしっかりと進めていきたい。



シカ被害対策協定(木城町、駄留地区鳥獣被害対策協、西都児湯森林管理署)



シカ被害対策協定(西都市、西都地区猟友会、西都児湯森林管理署)

●地方創生としても一次産業の支援・後継者の育成を

木材の販路拡大を進めるためにも、木材を安定供給していく体制が確保されていることが重要になっていきます。戦後に植林された森林資源も収穫期を迎えており、木材を生産する労働力について、もこれまでに以上に重要性が増しています。

西米良村長 宮崎県には「林業青年アカデミー」があり、年間10名ずつ後継者の育成をしており、林業労働力の確保に繋がっている。

木城町長 木城町では30代の若い従事者も増えてきている。

局長 せっかく若い人が林業に就業しても、下刈りがきつくてやめてしまうという話を聞く。そういったきつい仕事をどれだけ省力化できるかが課題である。

西都市長 森林管理署にお願いしたいのは、地方創生の実現である。地方創生の一番の基本は一次産業であり、田園回帰の機運が高まっているのでこれもしっかり支援してもらいたい、受け皿があると地元へ帰ってきてくれる人も増えると思う。

西米良村長 農林水産省は農業への新規就労者に年間150万円、5年間補助している。林業でも同じような補助ができないか。

局長 林野庁は、就業前の対策として、林業大学校

等で研修を行う者に年間150万円を2年間、就業後の対策として、1人当たり月9万円を林業事業体に支援している。

昔はどんな山でも伐って植えていたが、昔と今では全然状況が違う。きちんとゾーニングして、持続的に林業をやっていく森林と、土砂災害防止のために伐らない森林などきちんと線引きすることが必要。そういう指導をフォレストスターに担ってもらいたいと思っている。森林管理署のフォレストスター等が市町村のお手伝いをさせてもらいたいと考えており、そういう人材を皆で育てていく必要がある。

西米良村長 森林組合がフォレストキーパーという制度を作っている。全国から人を募集して、森林組合で勉強してもらおうというものである。

局長 林業へ従事したい者をどうやって育成していくか。各県と協力して林業大学のような技術者を育成していく仕組みを考えなくてはならないと思っている。

地域林政対談 イン 西都児湯

平成29年4月17日(月)15:00~17:00

西都児湯森林管理署会議室

出席者(敬称略)

○ 市町村長

押川 修一郎	西都市長
黒木 定藏	西米良村長
半渡 英俊	木城町長

○ 宮崎県

中武 浩一	児湯農林振興局林務課長
-------	-------------

○ 林野庁九州森林管理局

池田 直弥	九州森林管理局長
大政 康志	九州森林管理局森林整備部長
金井 正典	西都児湯森林管理署長
勝沼 太志	九州森林管理局企画調整課長

